

様式第四十四（第21条関係）

認定新技術等実証計画の実施状況報告書

令和3年11月25日

内閣総理大臣(消費者庁)
岸田 文雄 殿
農林水産大臣
金子 原二郎 殿

東京都港区虎ノ門一丁目15-10
一般財団法人 日本ヘルスケア協会
会長 今西 信幸
野菜で健康推進部会

令和2年10月5日付けで認定を受けた新技術等実証計画の実施状況を下記のとおり報告します。

記

1. 新技術等実証の目標の達成状況

(1) 目標

野菜果物が持つ含有成分やその一般的な機能性についての表示モデルを明確に示すことによって、小売現場における適切な広告活動を促進し、消費者の自主的かつ合理的な選択を促すことで野菜摂取量の増加や健康づくりに貢献することを検証する目的で実施した。

(2) 目標の達成状況

消費者庁と意見交換を実施し、31種類の野菜果物について表示モデルと留意事項を記した自主マニュアルを作成、令和3年4月から8月まで店頭において実証を行った。

実証には、12小売業者22店舗が参加。消費者、小売事業者に対して、こうした表示の必要性・見やすさ・ニーズ、優良誤認性の有無、売上額の変化等についてアンケート調査を実施し、1,485名の消費者、46名の店舗責任者等から回答を得た。

その結果、野菜果物が持つ含有成分やその一般的な機能性についての表示モデルを明確に示すことが、小売現場における適切な広告活動を促進し、消費者の自主的かつ合理的な選択に資する場合があることが検証できた。

※アンケート結果の概要

野菜果物の成分への関心は、80%以上の人が関心を持っており、成分を意識して購入した経験者も79%に上り、その関心の高さを確認できた。また、栄養素が多い野菜に対する購入意欲も、「意識して購入したい」が66%、「体調次第で検討したい」11%、「価格次第で検討したい」10%、を含めると87%、約9割を占めた。

野菜果物の体に良いはたらきに関して、過剰な優良性（優良誤認）を匂わせる反応は無いものの、「本当に効果はあるの」と健康効果を疑問視する声、「薬や通院を減らせるかもしれない」等の声も一部見られる。そのため、

- ・ 一般消費者が表示から受ける認識、印象、期待は、表示された一部の用語や文言のみで判断されるものではなく、当該用語等のほか周辺に記載されているその他の表現、掲載された写真、イラストのみならず、時にはコントラストも含め、表示全体で判断される場合があることや、
- ・ 小売店等が、店頭においてマニュアルを踏まえて表示を行ったものであっても、仮に、現実の表示の態様や消費者に与える印象として、法違反が疑われる表示と判断された場合には、消費者庁及び地方公共団体等の行政庁により、行政処分や行政指導等を受ける可能性があること

を踏まえ、表示する内容は根拠のある正しい情報を掲示するとともに、健康効果に関して過剰な期待感を持たせないよう、表示の態様に関する注意事項や消費者に与える印象に関する留意事項をマニュアルに記載した。また、「もっと色々知りたいと思った」49%が最も多く、健康効果を疑問視

しない方も多く存在することがわかる。消費者の情報に対するニーズが高いことがわかる。今回の表示に関する「体に対するはたらき健康効果」は30%の方に支持されており、「栄養成分の質や量」よりも健康効果に関心が高いことが分かった。

POP表示の掲示場所についての消費者アンケートは、「高すぎる・低すぎる場所は目に入らない、分かりにくい、もっと目に付く見やすいところに」、特に表示の文字量と文字の大きさが、文章が長いことによる分かりにくさが「分かりにくい原因」であることが明確となった。このことから今後、自主マニュアルに表示範囲を明示するとともに、簡略化した表示にする検討が必要である。

消費者が価格以外で知りたいこと、については「鮮度や収穫日」が一番であった。「味・おいしさのレベルを知りたい」は見た目で判断しにくいためと思われる。店舗における「旬、最適時期」「料理方法や最適な食べ方」の情報と組み合わせて提供することが求められている。「農薬や肥料の程度」「栽培方法」「詳しい産地、生産者の顔」は食品としての安全安心への関心であり、販売店として生産者からの情報開示によって提示可能な情報となる。

「活性酸素消去活性」の分析方法と、分析数値等の表示についてのアンケート結果は、「活性酸素消去活性という言葉は知らない、分からない」が74%となった。このことからPOP表示に使用する言葉は理解されやすい言葉を使用し、情報を伝えやすくすべきということが明確になった。それは「抗酸化力」という言葉に関しては「関心がある」59%、という結果からも判断できる。また「抗酸化力」に「関心がない」15%、また「高くても買う」53%、「同じ値段なら買う」「買わない」を合わせて47%からは抗酸化力表示の認知度が低く、価値が理解されていないことがわかる。

しかし、前述のように鮮度に関心があり、「鮮度が栄養を失わないこと」ととらえていることから、鮮度と抗酸化力の関係が理解されることが重要と考える。